

朱子

2019 年本試

問 3 朱熹(朱子)の理と気についての説明として最も適当なものを, 次の①～④のうちから一つ選べ。

13

- ① 心のなかにのみ存在する理を規範とし, 非物質的な気を媒介として, 物質としての万物が形成される。
- ② 万物に内在する理を規範とし, 物質的な気が運動することによって, 万物が形成される。
- ③ 心のなかにのみ存在する理を規範とし, 物質的な気が運動することによって, 万物が形成される。
- ④ 万物に内在する理を規範とし, 非物質的な気を媒介として, 物質としての万物が形成される。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 3	13	②	2

問 8 次のア～ウは，人間の欲望をめぐる先哲たちの洞察についての記述である。
その正誤の組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

18

- ア ブッダによれば，人間が所有欲などの欲望から離れられない原因は，自己という不変の存在を正しく把握していないことにある。
- イ プラトンによれば，不正な行為が生まれる原因は，魂のうちの欲望的部分が，理性的部分と気概的部分を支配してしまうことにある。
- ウ 朱熹(朱子)によれば，人間が私欲に走る原因は，先天的にそなわっている理が，気的作用によって妨げられていることにある。

- ① ア 正 イ 正 ウ 誤
- ② ア 正 イ 誤 ウ 正
- ③ ア 正 イ 誤 ウ 誤
- ④ ア 誤 イ 正 ウ 正
- ⑤ ア 誤 イ 正 ウ 誤
- ⑥ ア 誤 イ 誤 ウ 正

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 8	18	④	3

2017 年本試

問 8 儒家の家族観についての記述として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

18

- ① 孔子は，祖先に対する祭祀儀礼を批判し，生存している自分の父母や家族を最優先に考えるべきだと説いた。
- ② 『論語』では，父母に対する孝や兄に対する悌といった徳目が重視され，それらが仁の根幹であると説かれている。
- ③ 孟子は，基本的な人間関係を五倫としてまとめ，「父子」の間には「親」という関係が成立すると説いた。
- ④ 朱子学では，個人の修養や国家の安定などとともに，家族・親族の人間関係をうまく取り仕切る「齐家」の実践が要請された。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 8	18	①	2

2015 年追試

問 8 次のア～ウは，中国の思想家が述べた，あるべき実践や修養についての説明であるが，それぞれ誰のものか。その組合せとして正しいものを，下の①～⑧のうちから一つ選べ。

18

ア 万物に恵みを与えながらそのことを誇らない水のように，世間的な欲望を抑え，謙虚に他者に接して生きるのがよい。

イ 自己中心的でわがままな欲望に流されることなく，社会的に通用している規範である礼に自覚的に従うのがよい。

ウ ものごとに内在する道理を正しく把握し，意識を集中させ，つつしみをもって振舞うのがよい。

- | | | | | | | |
|---|---|----|---|-----|---|-----|
| ① | ア | 老子 | イ | 孔子 | ウ | 朱子 |
| ② | ア | 老子 | イ | 孔子 | ウ | 王陽明 |
| ③ | ア | 老子 | イ | 韓非子 | ウ | 朱子 |
| ④ | ア | 老子 | イ | 韓非子 | ウ | 王陽明 |
| ⑤ | ア | 莊子 | イ | 孔子 | ウ | 朱子 |
| ⑥ | ア | 莊子 | イ | 孔子 | ウ | 王陽明 |
| ⑦ | ア | 莊子 | イ | 韓非子 | ウ | 朱子 |
| ⑧ | ア | 莊子 | イ | 韓非子 | ウ | 王陽明 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 8	18	①	3

2012 年本試

問 5 次のア～エは、悪い行為の抑制方法について考えた中国の思想家たちの主張であるが、それぞれ誰の思想であるか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

8

ア 現実の人間は、本性としてそなわっている理が気によって妨げられているため、私欲が生じる状態にある。私欲が勝つと天理を滅ぼすことになるので、本性の涵養と事物の理の探究によって本来の理を発現すべきである。

イ 特定の人間のみを愛するとその人間だけの利益をはかるようになり、その結果、争いが生じる。それゆえ、正義を望む天の意志にかなうよう、人間は国や身分の違いを超えて分け隔てなく愛し合うべきである。

ウ 私的な欲望を増大させることは人間の最大の罪悪であり、戦争もまたここから生じる。それゆえ、争いのない平和な社会のためには、人がつくった道徳を排し、あるがままの素朴な生活に満足することが大切である。

エ 人間は利己的で打算的な存在であるため、社会秩序を志向するようにはできていない。道徳によって人間を善へ教化するのは幻想にすぎず、信賞必罰を旨とする法律と刑罰によって秩序を維持すべきである。

- | | | | | |
|---|-------|------|------|-------|
| ① | ア 朱子 | イ 孟子 | ウ 孔子 | エ 荀子 |
| ② | ア 王陽明 | イ 墨子 | ウ 老子 | エ 荀子 |
| ③ | ア 朱子 | イ 墨子 | ウ 老子 | エ 韓非子 |
| ④ | ア 王陽明 | イ 孟子 | ウ 孔子 | エ 荀子 |
| ⑤ | ア 朱子 | イ 孟子 | ウ 老子 | エ 韓非子 |
| ⑥ | ア 王陽明 | イ 墨子 | ウ 孔子 | エ 韓非子 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第2問	問5	8	③	3

2011 年追試

問 2 占いが政治を左右した背景に「天」の思想があった。中国の思想家の「天」についての考え方とそれに基づく人間理解の説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

6

- ① 孔子は、人の本性は天から授かった天命であり、天の意志は人民の声になって表れるので、人民の支持を受けた者が政治を行うべきだと説いた。
- ② 孟子は、天は風雨などの自然現象にすぎず人には無関係であり、人の悪なる本性は人為的に定められた礼によって正されるものだと説いた。
- ③ 朱子は、人の本性には天が与えた理が^{そな}具わるが、気によって^{ゆが}歪められているので、修養と学問によって理のままの性を取り戻すべきだと説いた。
- ④ 老子や荘子などの道家は、天と人とは陰陽の気を通じて一体となったものであり、天人相関の原理によって互いに影響し合っていると説いた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 2	6	③	3

2007 年追試

問 4 朱子の思想は、孟子の思想だけでなく、荀子の思想も取り入れて形成された。荀子の自己変革の思想を精緻に整えた朱子の学問修養論の記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① 心即理の認識に基づき、人はそのまま聖人なのだから、その聖人と同じ心を養うという居敬存養を説いた。
- ② 性即理の認識に基づき、人間は努力すれば聖人になれると考え、物の理を窮めるといふ格物窮理を説いた。
- ③ 心即理の認識に基づき、心の良知を具体的な実践の場で鍛え上げていく事上磨鍊を説いた。
- ④ 性即理の認識に基づき、認識と行動をつねに一致させることが学問修養だと考えて知行合一を説いた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 4	8	②	3

2006 年追試

問 2 朱子学の「理気二元論」の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

14

- ① 絶対無差別の真理である「理」が、相互に依存し合って生滅する「気」の動きとして、人間の心のうちに知覚される。
- ② 人間の本源的な生命力である「気」の働きが、その時々 of 行動の原理である「理」を、絶え間なくつくりだしている。
- ③ 人間を含む万物は「気」で構成されると同時に、その存在の根拠および道徳的規範が、「理」として賦与されている。
- ④ 普遍的な天の「理」と、場所によって異なる地の「気」とを調和させるのが、天と地の間で生きる人間の役割である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 2	14	③	3

2004 年 追試

問 2 朱子学に関する説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

21

- ① 本来の世界を、何の差別も対立もない万物斉同の世界として捉え、人為を去って生きることを提唱した。
- ② 万物は理と気とから構成されるとし、時間・空間を貫く一なる理を明らかにすることが重要だと説いた。
- ③ 人の心がそのまま理であるとし、人に生まれつき備わっている良知をいかに発現させるかが重要だと説いた。
- ④ 人は生まれつき利を求め害を避けようとするものだとし、外側から人を規制するものとして法律と刑罰を重視した。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 2	21	②	3

2003 年本試

問 3 朱子(朱熹)の学説についての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

4

- ① 人間を含む天地万物を気による運動体と見なした上で，死物の条理である天理よりも，身近な日常の人倫を重視するよう説いた。
- ② 心が弛むのを警戒し常に覚醒させようとする敬の実践と，事物に内在する理を体験的に窮めてゆく実践とをともに重視するよう説いた。
- ③ 知ることと行うこととを一つのことと見なし，あらゆる場で心の理である良知を十分に發揮させることを重視するよう説いた。
- ④ 孝は万物を生成し秩序づける宇宙の根源であり，あらゆる人々に等しく内在する心情であるとし，その実践を何よりも重視するよう説いた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 3	4	②	3

2001 年本試

問 5 朱熹は、孔子や孟子には見られない理論体系を用いて人の本性の問題について説明している。その記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

7

- ① 肉体を構成する気は社会の混乱につながる欲望の源泉であるから、その気そのものである人の本性は悪である。
- ② 道の立場から見れば、大小、是非などすべての価値的区別は相対的なものにすぎず、人の本性にも善悪の区別はない。
- ③ 人の本性は万物と共通の理であって善なるものだが、肉体を構成する気によって乱されており、悪の存在はその乱れに由来する。
- ④ 生きて働く現実の心そのものが理であって、生得の道德性を自由に発揮すれば本性の善がそのまま実現する。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 5	7	③	3

2001 年追試

問 4 「窮理」の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

21

- ① 精神集中によって，絶対者を実感できる身体をつくりあげること。
- ② 個々の事物・事象の探究によって，存在の根拠や規範を認識すること。
- ③ 正座し，心身を平静に保つことによって，解脱の境地を得ること。
- ④ 生まれながらの心に従うことによって，価値判断をくだすこと。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 4	21	②	3

2000 年本試

問 2 仁を説いた孔子の教えがどのように解釈されてきたかについての記述として
適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 2

- ① 朱熹(朱子)は，仁とはこの世の規範原理である気が人間の心に宿ったもので，五経よりも多く気について述べている四書の学習が重要だと説いた。
- ② 王守仁(陽明)は，心に本来そなわっている良知を発揮していくことが仁を
実践する正しい生き方であり，四書の要点もそこにあると説いた。
- ③ 伊藤仁斎は，仁とは人々の間に満たされている愛であり，それを実現すべ
きものとして教えている『論語』こそが，宇宙第一の書物だと説いた。
- ④ 荻生徂徠は，仁とは個々人の内面的な修行ではなく政治によって民を安ん
じることであり，六経には聖人の統治術が具体的に記されていると説いた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 2	2	①	3